

新たに開催が決定したコンベンション

Asia-Pacific Conference on Synthetic Aperture Radar (APSAR)

- ▶日 程 2025年10月5日(日)～2025年10月9日(木)
- ▶会 場 くにびきメッセ
- ▶参加予定人数 300人
- ▶内 容 APSAR（アジア太平洋合成開口レーダ）はレーダ技術に関する国際会議で、開始から十年余りの若い会議です。奇数年度に開催しており、中国、韓国、日本、シンガポール等の国々の持ち回りで開催されてきました。2013年のつくば大会以来、2025年に日本国内で開催します。

大会のWebサイトのURLは、<http://apsar2025.ce.t.kyoto-u.ac.jp/>です。

くにびきメッセファンクラブ交流会(関西・名古屋)を開催しました

8月に、関西(大阪)と名古屋で「くにびきメッセファンクラブ交流会」を開催しました。

関西交流会は12回目の開催、名古屋交流会は今回が初めての開催でしたが、どちらも8名の国際会議の主催者や関係者の方に出席していただきました。交流会では、当財団から島根県と松江市の国際会議開催に関する情報提供を行った後、出席者の皆様に会議開催について情報交換を行っていただきました。開催予定の国際会議や、過去に松江で会議を開催した際のお話が飛び交い、大変賑やかな会となりました。

今後もファンクラブの皆様との繋がりを大切にしながら、交流の場を提供していきたいと考えております。



「JSAP EXPO Autumn 2024」に出展しました

9月に新潟市で開催された応用物理学会秋季学術講演会の展示会「JSAP EXPO Autumn 2024」に出展しました。

応用物理学に関連する研究者や企業が多く参加する学術講演会ですが、当財団の展示ブースでは、現在島根県でのみ行われている古来からの製鉄技術「たたら製鉄」をテーマに、玉鋼の実物や日本刀レプリカの展示を行いました。

あわせて、島根県でのコンベンション開催に関するPR活動を行い、島根県の魅力や当財団が提供する開催支援に関する情報を来場者にお伝えしました。来場者を対象にした玉鋼が当たる抽選会も大変盛況で、今回初めての出展でしたが、多くの方にご来場いただき島根県を知っていただけた貴重な機会となりました。



大規模修繕工事の完了

くにびきメッセは、昨年12月から実施していた国際会議場、多目的ホール、小ホールおよび4F～6F会議室の照明・空調設備更新工事が完了し、9月1日(日)にリニューアルオープンを迎えました。

会場の照明はLEDにより、より明るくなり、空調換気設備も新しく更新され、皆様により快適な環境でご利用いただけるようになりました。また、多目的ホールの舞台照明設備も更新され、従来以上の細やかな演出が可能となっています。

この秋には様々な展示会、イベントが予定されています。また、大会・コンベンション、講演会、説明会、式典、試験会場等にもご利用いただけます。利便性の高まった当施設のご利用を是非検討くださいますようお願いいたします。

今後も施設の安全かつ快適な環境づくりに貢献できるよう、スタッフ一同取り組んでまいります。



しまねの伝統工芸

袖師窯

袖師窯は初代尾野友市が明治10年に上乃木皇子坂に開窯します。2代目岩次郎は、明治26年に、船便も良く、(当時は鉄道や道路の陸路は無く、唯一の移動手段は穴道湖を回る航路でした。)夕日の美しい穴道湖に面した袖師浦(そでしがうら)に窯場を移し、5室の登り窯を築きます。3代目敏郎は、昭和6年5月に柳宗悦が来県したことで、この地に広がっていく民芸運動に関わり、安来市出身の河井寛次郎や、浜田庄司らと行動を共にした英国のバーナード・リーチなどにも、幾度となく指導を仰ぎ技術を磨いていきます。昭和33年には、ブリュッセル万国博覧会において「掛分酒器」がグランプリ賞を獲得します。

袖師窯の特徴は、地元に産する陶土、釉薬では地元産の来待石(柿釉)や地釉、呉須釉、藁白釉、糠白釉、辰砂釉などによる豊かな色彩と、掛分、抜蟬文、鉄絵、刷毛目、釘彫、櫛目など様々な技法を施し、最後の仕上げも丁寧です。食卓に、飾り棚に安心して置けそうです。今は、4代晋也の後を友彦氏が継いで、現代の暮らしに役立ち、簡素で、潤いのある、花器、茶器、酒器、和洋食器などを制作しておられます。因みに、奥さんの真弓さんは、江戸から明治時代にあった木製郷土玩具の「松江宮」や「蒸気船」、珍しい松江の紙塑(しそ)玩具「干支車」を出雲民藝紙の山野さんと復元製作されています。



明治の鉄道より先に、主要国道より先に袖師にきた窯元。どうぞこれからもずっと、地元の人々の暮らしと共に発展しますように。



Topics

「米子ー香港」便の再開

香港のグレーターベイ航空が、「米子ー香港」便を再開すると発表しました。コロナ禍の影響により2020年2月より運休をしていましたが、2024年10月27日から週3往復(火・木・日)を予定しています。これにより、海外からのアクセスがますます便利となります。

松江コンベンションビューロー 一般財団法人くにびきメッセ

〒690-0826 島根県松江市学園南1丁目2番1号

TEL.0852-32-1903 FAX.0852-22-9219

<https://www.matsue-cvb.jp/>

E-mail: messe@sx.miracle.ne.jp



コンベンション開催
支援に関する情報は、
ホームページをご覧
ください。